



餅つきを体験

国見町伝統文化親子体験フェスタが11月24日、観月台文化センターで行われました。

今回のフェスタは、親子で国見町の伝統文化(茶道、和楽器、内谷太々神楽、舞踊、囲碁、将棋)と食文化(郷土料理)への興味が広がるような一日体験型で実施され、多くの親子連れが各体験を楽しみました。

参加者からは、「町内の伝統文化を楽しむことができよかった」、「おいしい郷土料理を味わうことができ、満足した」といった声が聞かれました。

国見町伝統文化親子体験フェスタ 親子で伝統文化を楽しむ1日



おいしいおやつできるかな

国見つ子わんぱく広場の活動が11月30日、国見小学校で行われ、子どもたちがプラ板づくりとおやつづくりを体験しました。

プラ板作りでは、自分の好きな絵を描いてプラスチックのキーホルダーにして、友達同士で自慢しました。

おやつづくりでは、キャラメルバナナトーストづくりに挑戦し、甘くておいしいおやつを味わいました。

プラ板・おやつづくりに挑戦

生涯学習
つうしん

国見町教育委員会生涯学習課
(観月台文化センター)
☎(585)2676 FAX(585)2707
E-mail shogai@town.kunimi.fukushima.jp
https://www.town.kunimi.fukushima.jp/site/kangetsudai/

リュッケじかん LYKKE 時間

第10話「日本の読解力が下がった?！」

国際学力調査で日本の読解力の順位が前回より下がったことが話題になっています。この結果を受けて、一日読む冊数を決めて読書を推奨する学校もあるとか。順位を上げるために対策を練れば、結果は前より良くなるかもしれません。でも、読解力の世界順位が上がることは、その子の人生を豊かで幸せなものにしてくれるでしょうか? 読書に没頭し、物語の世界に入り込み、ワクワクしながら知識が広がっていく。それが楽しい! そんなふうに本と向き合う先に、読解力の高まりがあるように思うのです。その子の「楽しい!」を大切にしていきたい。



物語の世界に夢中です!

文:柴田千賀子(国見町出身の保育研究者。仙台大学准教授)



佐藤家住宅で内谷太々神楽を体験



テープカットでフェスタが開幕しました



興味深く囲碁のルールを勉強



親子で茶道の基本を学んでいます



優雅で美しい踊りを体験



真剣に対局



地元食材を使った郷土料理は大好評



中学生も箏の講師を務めました

【協力団体代表者コメント】

■宝松会国見教室
代表:井砂のり枝さん

興味を持った方が多くありがたかったです。来てくれた子どもたちも楽しんでくれていました。着物や扇子などの展示も好評でした。



着物や扇子の展示

■国見町婦人会連絡協議会
代表:安田節子さん

私たちにとっても良い体験になりました。親子連れが喜んで料理に舌鼓を打ち、「今度はこれを食べてみよう」「お母さん、お家でも作ってね」と、うれしい言葉をいただきました。



郷土料理に舌鼓を打つ親子



オリジナルのキーホルダー完成

阿津賀志学級の寿祝敬老会が11月20日、観月台文化センターで開催されました。寿祝敬老会では、卒寿の八巻まつ江さんをはじめとして、米寿、喜寿、古希の14人の学級生に賀詞と記念品が贈られ、健康寿命を祝いました。

閉会後には歌や踊り、津軽三味線の演奏、合唱など多彩なアトラクションが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。

阿津賀志学級 寿祝敬老会 末永く元気で過ごしてください



みんな笑顔で記念写真

観月台文化センター常設展示 石原コレクション 作品紹介 Vol.12

題名「目盛り(南仏)」
作家 田村 孝之助
(たむら こうのすけ)

カンヴァス・油彩
235 × 330mm

